

広島県立庄原実業高等学校卒業 片山正彦さん

(農事組合法人三次ピオーネ生産組合)



片山 正彦 (かたやま まさひこ) さんの紹介

平成 5年 10月 三次市畑敷町生まれ (23歳)

平成 22年 3月 三次市立八次中学校卒業

平成 25年 3月 広島県立庄原実業高等学校生物生産学科卒業

平成 27年 3月 広島県立農業技術大学校卒業

卒業と同時に、農事組合法人三次ピオーネ生産組合に就職就農

〇片山正彦さんの就農までの道

農業高校
(庄原実業高等学校)

県立農業技術大学校
(落葉果樹コース)

就農
(三次ピオーネ生産組合)

農業高校に入学しようと思ったキッカケは？ 農業を仕事にしようと思ったきっかけは？

私の父は(農)三次ピオーネ生産組合の組合員で、祖父が創設者の一員でした。幼い頃から、ブドウ園で働く父の姿を見て育ち、その作業する父の姿にあこがれていました。「私も大きくなったら父さんみたいに立派な人になりたい」と思い、農業高校へ進学しました。

高校や大学校で学んだことは？

高校や大学校の5年間で学んだことは2つあります。1つめは、栽培技術です。父のもとでブドウ園の手伝いをしてきた経験を、高校、大学校で理論づけて学び、加えて幅広い栽培知識を身に付けました。

2つめは、社会生活についてです。「他の人が嫌がることは、積極的に取り組む」という心構えをもつことで、高校の寄宿舎生活での寮長や農技大の研究発表など、たくさんの機会をいただき、リーダーシップを身に付け人間性を向上させることができました。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

一生懸命に取り組んで出来上がったブドウが収穫時期に出来上がることで、お客様がブドウを食べて「おいしい」と喜んでいただけることにやりがいを感じます。迎り着くまでに、楽しいことや大変なこともあります。が、「ブドウを楽しみにしている人がいること」を支えに、やりがいを持って生産しています。



就農先の紹介

農事組合法人三次ピオーネ生産組合は、昭和 49 年に設立され、現在 19 名の組合員によって、約 32ha の圃場でピオーネ、シャインマスカットを中心としたブドウ協業経営に取り組んでいます。

生産では、圃場責任分担制で、ブドウ生産を行い、全量検品による統一した品質のブドウを、計画的に出荷しています。